

2011年1月日本ユース代表強化合宿報告 (スポーツ振興基金助成事業)



1月4日から8日まで、オーストリア（AUT）からコーチ2名、選手2名を招いてユース代表合宿が開催された。会場は宿泊と机上講習がオリンピック記念青少年オリンピックセンター、実技はパンプ川崎店で行なった。

今回の合宿は5日間の全日程に、クライミングの実技指導以外の机上講習を多数盛り込み、選手を遊ばせない事が目的であり、ある意味、多数の選手を把握して合宿を進めていく、指導者の力量が問われた。

4日13時過ぎ、21名の選手、9名の指導者、日山協スタッフ8名が揃いオリエンテーション、安全講習からスタートした。この日の午後は、国立スポーツ科学センターから招いた宇土昌志氏によるメンタルトレーニングの講習。そして日本アンチ・ドーピング機構から岡先氏とフェンシングアジア大会金メダリストの福田めぐみ選手からドーピング防止の講習が行なわれ、夕食の後、合流したオーストリアコーチ・選手4名と交流の場が設けられた。

翌日から4日間、朝6時に起床し、大変込み合う食堂で7時30分までに朝食、参宮橋駅に8時50分までに行き、パンプ2に8時30分までに到着。午後1時までに実技講習を終え、移動と昼食をとて夕方からは午前の実技講習の解説と質疑。その後、夕食を終えると、また1時間30分の講習、とても混んでいる風呂を終えると11時近くという過密スケジュールをこなし、8日夕方4時過ぎ合宿を終えることが出来た。

午前中の実技講習では会場の制約があるために、選手を男女別のグループにわけ、リード壁とボルダリング壁で講習を行った。細かな内容については現在レポートをまとめている。AUTの選手強化のシステム、トレーナー、コーチの経済的な実情を知る事もできた。

夜間の講習は、昼間十分に使った身体と頭脳を考慮して、「レジェンドに聞く」と題して、平山ユージ、小林由佳を講師に招き、それぞれ1時間半ユース選手に対して講演、もう一日はAUTスタッフを交えたゲームとコンディショニングの講習を行なった。

ユースの海外合宿は過去3回、オーストリアのイムスト・インスブルックで合宿を行なってきたが、そこで学んだ練習方法を国内で実践できるまでに理解できた選手は少なかった。そこで、今回はイムストでこれまでお世わになってきたトレーナーを招聘し国内でベーシックなトレーニング方法の講習を実施、机上講習とセットにして、選手の理解度を上げることが目的の一つであった。その為にドイツ語が堪能なスタッフを長崎から招き、選手の指導者の参加を奨励した。

終了後に集めた選手からのアンケートを見ると、普段の環境で行う合宿（国内）のほうが、講習の内容、トレーニングへの理解が深まったようだ。大半の選手が身体的にきつかった。としていたが、充実していたとの意見が多数あり、合宿としては成功と考えている。レジェンドの2人も趣旨を理解して頂き素晴らしい話をして頂いた。盛りだくさんのメニューも十分に目的は達成できた。

AUTのスタッフは、初めての施設での講習にもかかわらず、的確に選手を観察しアドバイスすることができ、彼等のスキルの高さを感じると共に、その意味を理解して選手に支持を出している日本側スタッフも十分な準備が出来ていると感じた。選手達では、安間・野口を輩出した世代に比べて積極性に欠けている点が気になった。逆にAUTユース選手は日本の環境になじめず、十分に動く事ができなかったのが残念である。

現在、日本は国際スポーツクライミング連盟（IFSC）2010年W-cup国別ランキングでリード3位、ボルダリング4位のトップクラスの実力を持つ国となった。しかしながら、その選手強化、指導体制は選手の頑張りに追いついておらず、今合宿は、5年前に比べると大きな進歩と考える事も可能だが、中央競技団体としての責任を果たせていない部分がまだ多数あり、多くの課題が見つかった。スポーツクライミングの強国入りは、各々の個人の才能と努力の結果であり、競技団体としての組織的な動きは追いついていない。社会の仕組みが大きく変わろうとしている昨今、早急な対応が求められている。

最後に実技講習の場所としてご協力をいただいたパンプ2号店に感謝いたします。こうした協力が無ければ実現できない合宿でした。

今後、この合宿のレポートをまとめ、競技者育成プログラム、指導テキストの作成を目指していくなくてはならない。尚、この事業は平成22年度スポーツ振興基金の補助事業として行なわれました。（2011.3.1 中川）

講師 平山ユウジ、小林由佳、宇土昌志、福田めぐみ、岡先聖太

AUTコーチ、サビニヤ・クナーベル、アレクサンドル・クナーベル

AUT選手 カタリーナ・ポーシェ、アレクサンダー・コール、

参加者名 中原蛍、小福田仁、渡部佳太、村井隆一、津守暁斗、山内誠、河島侑哉、是永敬一郎、島谷尚季、野村真一郎、飯田譲、大田理沙、安田あたり、山縣茜、小田桃花、水口僚、飯田あづみ、尾上彩、廣重幸紀、小武芽生、野中生萌、

スタッフ 小日向徹、木村伸介、安井博志、伊東秀和、宮路未来、西谷善子、江口かおり、中川裕

